



第16号 ～ホットな心 ホツとする気持ち～
【発行】”ほっと三丘”コミュニティ協議会(広報委員会)
【編集】三丘徳修館

TEL 92-0177

2011. 3. 1号



黒岩峡の清掃を行いました。

1月30日(日)午前9時。黒岩峡に向う道には、前日降った雪が積もり白銀の世界。地元の自治会長さんや協議会の委員、総勢16名で、ゴミ袋を片手に清掃活動を行いました。

毎年、実施している清掃活動のおかげで、いつも清らかな川で、水が澄んでいます。暖かい季節を迎えると、多くの家族連れや若者が清涼を求めて、やってきます。

これからも美しい自然を、地域の宝として守っていききたいものです。

第3回徳修館杯ミニバス三丘大会 開催！！

2月19日(土)、熊毛体育センターにて、第3回となります徳修館杯ミニバス三丘大会が開催されました。徳修館ゆかりの萩市から今年は椿東(ちんとう)、明倫の2チームが足を運んでくださり、徳修館杯の名にふさわしい大会ができました。

試合結果

優勝:大和(光市)
準優勝:周東(岩国市)
敢闘賞:炎(光市)

三丘ミニバスは、ポートボールから移行して今年で30年。頑張る子どもたちを今後とも温かく見守ってください。 文責 松崎 靖尚



徳修館あれこれ

第6回 太鼓の修復(その2)

業者に太鼓を見せたらと充分修復が可能とのことで、太鼓修理の話はとんとん拍子で進みました。と同時にこの太鼓の経歴もわかってきました。胴の内側に記された筆文字。全部は読み切れませんでしたが、次のように書かれていました。

「天保〇〇年四月中旬 大坂 渡辺村八新町 細工人 岸〇屋 又〇〇」

天保年間は1830年～1843年までの13年間ですから、今から約180年前作となります。また、渡辺村は現在の「大阪市中央区久太郎4丁目渡辺」にあたり、かつて渡辺村と呼ばれ皮革製造、太鼓製造を行っていたそうです。

太鼓の皮は消耗品で50年ぐらいが寿命と考えられますから、何度か修理はされたことと思います。修理前の太鼓には「昭和二九年四月拾五日 光市浅江字高洲 制作者 野村重一」と修理についての文字が、ゴム印で皮にスタンプされていました。

この度の業者の話では、太鼓を運ぶための枠の形は、広島県北部から山口県にかけての独特のものだそうです。これは毛利氏が防長2州に封入されたことと関係があるように思います。

徳修館顕彰保存会 杉村洋治

三丘温泉音頭復活お披露目へ

踊り手を募集しています

昭和30年代に作曲された三丘温泉音頭(有馬草々子作詞 大村能章作曲)のお披露目を4月3日(日)三丘温泉さくらまつり(東善寺やすらぎの里)の会場で行う計画です。

今、それに出場する踊り手を募集しています。三丘の多くの方に親しんでもらえる三丘の御当地ソングとして、また踊りとして、普及していきたいと考えています。是非参加していただきますようお願い申し上げます。各自治会長さんまたは三丘徳修館にお申し込みください。

3月には練習を予定しています。また踊りに必要なものはほとと三丘コミュニティの方で準備をいたします。



ゆけむり(大正琴)教室会員募集!!

大正琴に興味のある方、眠っている琴をお持ちの方、一緒に習いませんか?是非、一度教室にお越しください。

毎月第2、第4月曜日午後1時から、三丘徳修館で練習しています。【熊谷Tel77-2211、守田Tel91-2017】



※公民館で自主的に活動している団体や自治会等で活動している事を是非、三丘地区の方々に広く知ってもらうために、情報の提供をお願いしております。

活動内容が分かる資料(手書きでも構いません)と写真を添えて三丘徳修館までお持ちください。

なお、発行時期や紙面の都合上、意にそえない場合はご容赦ください。

連絡先:周南市三丘徳修館 Tel92-0177

~3月・4月の行事予定~

3月11日(金) 夜間巡回 18時~20時 【三丘地区校外育成協議会】

3月10日(木) 熊毛中学校卒業式

3月18日(金) 三丘小学校卒業式

4月 3日(日) 第3回三丘温泉さくらまつり開催!! 10時~15時

<場所:東善寺やすらぎの里広場周辺>